

## 出会いと縁に支えられ

名古屋音楽大学特任教授 (前名古屋市立山田中学校長)

川合 恒之 (S58 卒)

この3月に名古屋市立中学校での教員生活を、定年退職という形で終えることができました。37年間でしたので、数字だけ見れば、「我ながらよく続いたな」と思います。

思い返せば、この名古屋音楽大学の作曲科を卒業し、すぐに教職に就きました。教職課程を履修してはいましたが、現場での経験は教育実習だけであり、いきなり2年生のひとり担任を任された時、「右も左も分からない」というのは、こういうことを言うのだろうと思いました。その上、当時は「荒れる学校」の真ただ中で、大変だということに気付く間もないほど、必死に過ごす毎日だったように覚えています。

音楽の授業でも苦勞していましたが、ある時、なかなか進んで歌ってくれない生徒が「流行歌なら楽しく歌える」と言ってきました。この際何でも試してみようと、当時流行していた「フォルティシモ」「初恋」などの数曲の歌謡曲を、3部合唱に編曲して教材にしたところ、歌声が聞こえるようになり嬉しかったことを覚えています。音楽を教える技術の不足に変わりはありませんでしたが、作曲を専攻し、村瀬建太郎先生に教えていただいたことが役に立ったという、実感をもつことができました。

もうひとつ名音大との縁を感じるがあります。中堅の教員となった頃、音楽の授業研究に集中して取り組める機会がありました。取り組んだのは「民族音楽を活用した音楽づくり」でした。その中には、「ガムラン」もありました。初めて「ガムラン」に出会ったのは名音大だったのです。学生時代お披露目があったのを記憶していました。その記憶のおかげで、栗原幸江先生を訪ね教えていただくことができました。

教師というのは、子どもたちという「人」を相手にしている仕事です。すべては出会いから始まります。入学式や始業式で出会った日から、クラスの子もたちが気になってしょうがない存在になる、不思議な縁を感じます。そんな縁を感じるものがモチベーションとなり自分自身も成長できたのだと思います。また、人相手ということは、思うようにならないことのほうが多いので、かけがえのない喜びもありましたが、とんでもない苦勞もありました。そんな時、同僚の先生方との出会いが支えてくれました。今でもその縁は続いています。

今年度より、名音大の教職担当としてお世話になることになりました。久しぶりの大学との縁と新たな出会いに感謝しなくてはと、強く思っています。

◆会員の異動◆8月1日現在、めいおんの会把握分 (SHR 卒年) 名古屋市立は市名略、愛知県は市町村名記、他は都道府県名記

### 【教諭(本務)】

<退職> ~お世話になりました~ 川合恒之(58)山田中(校長)、今井利佳(60)如意小

<転任> 藤松真人(59)南陽中(校長)→山田中(校長)、宇佐美ほかか(5)東陵中(教務)→守山中(教頭)、平賀真司(14)山田小→笠寺小、川合恭子(22)鳴海中→浄心中、西垣由紀子(25)笹島中→名塚中、三好悠美子(18)岐阜・郡上特支→岐阜・可茂特支

<新任> 野田菜摘(25)はとり中、宜保舞(R2)私立・星槎名古屋中、岩田結季乃(R2)岐阜・八百津東部中

### 【講師】

<転任> 佐藤初恵(50)岩塚小→ほのか小、出井令子(62)大須小→岩塚小、宮田靖子(4)栄小→御園小、森佳美(10)猪子石小→高針小、伊藤千登勢(62)瀬戸・道泉小→瀬戸・にじの丘学園小、奥村玲子(30)小牧・北里小→春日井・高森台中、下田紗智子(31)三重・南勢中→三重・大宮中

<新任> 磯村遥子(R2)守山東中、吉崎七音(R2)西福田小、野田小百合(R2)春日井・出川小、原美翼(R2)豊田・

## 星名中の取り組み

星槎名古屋中学校教諭 宜保 舞 (R2 卒)

私は、今春、名音大を卒業して星槎名古屋中学校（以下、星名中）に勤めています。私が勤める星名中は、新型コロナの影響で休校期間中も配信授業（Zoom を使用）を行い、生徒総会や避難訓練等の行事も配信で行ってきました。「例年通り」が通用しないため、難しい点もありましたが、「今だからできること」を考えてきた結果、休校期間中も充実した日々になったかと思えます。

星名中は、不登校の経験のある生徒も多いため、精神的な部分から支えることを重要視しており、生徒が相談しやすい先生に相談できるような環境、学年の先生全員で学年の生徒を見ることができるよう環境になっています。そして、私が一番驚いたことは、ステップアップルーム（以下、SUR）という教室が設けられていることです。SUR は教室に入れないうちや、次の授業に向けて心を落ち着かせたいとき、自分のペースで勉強したいときなどに利用できるようになっており、カウンセラーの先生や、養護の先生が常駐しています。この SUR で配信授業を受け、課題を提出することで、出席扱いと見なすこともあり、小学生の頃から学校に対して、不安感が強い生徒も安心して登校することができます。

このように、星名中は、生徒のことを第一に考えた取組を行っています。今年度は、コロナウイルスのため、入学式短縮開催、修学旅行の中止、学習の不安、外出自粛、マスク、ソーシャルディスタンスのストレス等、子どもたちは短時間に多くのことを乗り越えています。コロナ世代と言われている子どもたちですが、今だからこそできることを考え、「コロナで大変だけど、でも楽しかったね」と将来思ってもらえるように、教員として、星名中として今後も取り組んでいきます。

個人的な話になりますが、私は現在、音楽科以外に生徒指導部、生徒会・ダンス部顧問、2 学年担任をしており、音楽科以外の仕事の多さに日々驚かされています。（柴田先生、吉川先生には、体力勝負だよ！と、言い聞かされていたので、覚悟はしていましたが・・・）（笑）。教員としてこれからも頑張っていきますので、先輩方、機会がございましたら、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

## 教員になって

岐阜県八百津町立八百津東部中学校教諭 岩田 結季乃 (R2 卒)

私は今、山間にある全校生徒 24 名のとても小さな中学校に勤務しています。

自然豊かな環境の中、生徒たちは、純粹で素直なとてもいい子ばかりです。小さな学校だからこそできる『教員全員で全校生徒を見ていく』ことを大切にして、どの子にもたくさんの愛情を注ぎながら日々指導に当たっています。

初めて生徒の前に立ったときはとても緊張しましたが、「岩田先生」と呼ばれたとき、「本当に教員になったんだ」と改めて実感し、身の引き締まる思いでした。講師経験もなく、何もかもが初めてのことなので、戸惑うばかりでした。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、臨時休校からのスタートでした。これから先どうなるのか、不安の中始まった教員生活でしたが、校長先生が「わからないことは、なんでも私や先生方に聞いてね。私たちも学びなおすつもりで、岩田先生と一緒に学びましょう。」と初日に声をかけてくださり、とても心強く感じました。先生方は、優しく丁寧にご指導くださるので、学校全体も温かい雰囲気に溢れていて本当にありがたいことと日々感じています。学校では、毎日様々なことが起こるので大変ですが、ようやく仕事にも慣れてきました。

先日、生徒から「先生の授業はわかりやすく、楽しいです。」という声を聞き、とても嬉しく感じました。まだまだ手探りの状態ではありますが、生徒たちに楽しみながら音楽を学んでもらえるように、日々研鑽を積んでいきたいと思えます。

### ♪♪令和 2 年度 総会・研修会・懇親会中止のお知らせ♪♪

8 月 30 日 (日) に予定しておりました見出しの会は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、やむをえず中止させていただくことになりました。なお、来年度の研修会は、本年度と同一内容（「ジャズへのお誘い」講師：小濱安浩先生・卒業生）で行う予定にしております。ご理解をお願いいたします。

【編集後記】◆今年の新卒 2 名の方に教師になられた抱負をお寄せいただきました。ぜひ、「子どもに好かれ、先生方に愛され、保護者に信頼される教師」なってください。◆新型コロナの影響で、今年は多くの学校で、行事が縮小されたり中止になったりしています。しかし、世間が with コロナで動いていることか

ら、来年度は実施の方向での対応が求められることと思います。どのように行ったらよいか、難しい課題です。(ゆ)

